

### <大分県の概要>

大分県は、九州の東部に位置します。日本最大の湧出量を誇る別府温泉や2番目の由布院温泉は全国的に知名度が高く、多くの観光客が訪れています。特産物では、正月のおせち料理などで珍重される「どんこ」と呼ばれる椎茸やレモンと柚子の双方の特性を備えた「カボス」が有名。また、「関アジ・関サバ」、「ふぐ」、「城下カレー」などブランド化されており、大変人気があります。一方で「鳥天」や「から揚げ」が名物の地域があることから、鶏肉の消費率が全国で最も高い県でもあります。



面積：6,338.82km<sup>2</sup> (日本の中で24番目)

総人口：1,203,858人 (7月1日現在・推計)

総世帯数：479,051世帯 (7月1日現在・推計)

市町村数：14市3町1村

大分県の花：豊後梅の花

大分県の木：豊後梅

大分県の鳥：メジロ

産業：大分市が新産業都市の指定を受けたため、全国平均に比べ第二次産業の占める割合が高く、県内総生産は1999年に約44,000億円、その内第一次産業が3.1%、第三次産業は61.0%となっています。

大分県内に拠点を有する主要企業：キヤノン(大分市)、昭和電工(大分市)、新日本製鐵(大分市)、住友化学(大分市)、東芝(大分市)、日鋼金属(大分市)、ダイハツ九州(中津市)、TOTO(中津市)、NEC(中津市)、サッポロビール(日田市)、大平洋セメント(津久見市)



椎茸



カボス



関アジ



城下カレー